

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1108	(H.22)No.	1108
-----------	------	-----------	------

事務事業名		美しい森林づくり基盤整備交付金事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		農林振興室		西森 平太郎	63-7625
新・継	事業期間			根拠法令等	
継続	平成 18 年度 ~	平成 38 年度			

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	2	森林環境整備
	小施策	2	豊かな森づくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	340510
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	林業振興対策費	
項	林業費	(小事業名)	
目	林業振興費	美しい森林づくり基盤整備交付金事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>【森林環境創造事業】 赤目町長坂地区(45.97ha) 青蓮寺地区(41.84ha)の下草や広葉樹の導入を目的とする調査、間伐、受光伐、広葉樹植栽等を継続的に実施。</p> <p>【高齢林整備間伐促進事業】 高齢林整備間伐促進事業～40年生以上の山地を0.1ha以上で間伐率10%以上を間伐する。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>森林を公共財産ととらえて、下草や広葉樹の導入を目的とする間伐を継続的に実施し、針広混交林など多様で力強い森林づくりを行うことによって、森林の持つ公益的機能の高度発揮を図る。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	赤目環境林 間伐 = 1.0ha 青蓮寺環境林 間伐 = 1.0ha 高齢林間伐 10.0ha	赤目環境林受光伐 30.9ha 間伐 26.69ha 高齢林 10ha	巡視確認(青蓮寺) 41.84ha	赤目環境林 間伐 0.99ha	
直接事業費	874千円	2,000千円	1,340千円	1,340千円	1,340千円
財源内訳(千円)					
国庫支出金	300	1,000			
県支出金	458	800			
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 116	200	1,340	1,340	1,340
職員	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
臨時職員等		0.01人			
概算人件費	(0千円) 292千円	309千円	292千円	292千円	292千円
+ 総事業費	(0千円) 1,166千円	2,309千円	1,632千円	1,632千円	1,632千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	環境林の整備面積及び間伐等の森林施業面積	-	-	-	-	88.0
	実績		46.3	65.0	92.5		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 事業者
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 30ha以上の一連の団地(森林)を市・地権者・伊賀森林組合の三者で20年にわたる契約をしているため、契約期間途中で面積の増減などには対応し難い。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3053	(H.22)No.	3053
-----------	------	-----------	------

事務事業名		間伐実施事業補助金			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		農林振興室		西森 平太郎	63-7625
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	2	森林環境整備
	小施策	1	林業振興
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	340508
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	林業振興対策費	
項	林業費	(小事業名)	
目	林業振興費	間伐実施事業補助金	

3. 事務事業の概要

事業概要	
国・県の流域育成林整備事業費の1/10の補助により、間伐の促進を図っている。	

めざす効果(事業目的)	
森林の適正管理を促進します。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	国・県の流域育成林整備事業費の1/10の補助により間伐などを行う。		国・県の流域育成林整備事業費の1/10の補助により間伐などを行う。		補助金・交付金	その他 ()	
	国・県の流域育成林整備事業費の1/10の補助により間伐などを行う。	国・県の流域育成林整備事業費の1/10の補助により間伐などを行う。	国・県の流域育成林整備事業費の1/10の補助により間伐などを行う。	国・県の流域育成林整備事業費の1/10の補助により間伐などを行う。	国・県の流域育成林整備事業費の1/10の補助により間伐などを行う。	国・県の流域育成林整備事業費の1/10の補助により間伐などを行う。	国・県の流域育成林整備事業費の1/10の補助により間伐などを行う。
直接事業費	394千円	500千円	500千円	500千円	500千円	500千円	500千円
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	(0)	394	500	500	500	500	500
人工数							
職員	0.03人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
臨時職員等	0.01人	0.01人					
概算人件費	(0千円) 236千円	309千円	292千円	292千円	292千円	292千円	292千円
+ 総事業費	(0千円) 630千円	809千円	792千円	792千円	792千円	792千円	792千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	-
	実績		1	1	2		
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
	・1/10では少ない。 ・国、県の事業が終了しないと、市補助分の箇所が決定できない。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 事業者
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 概ね国・県の流域育成林整備事業費の1/10の確保に努めているが、年によってばらつきがある。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3081	(H.22)No.	
-----------	------	-----------	--

事務事業名				緊急間伐促進事業			
担当部局名		担当室名		室長名		連絡先	
産業部		農林振興室		西森 平太郎		481	
新・継	事業期間			根拠法令等			
新規	平成	23年度	~	平成	年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	2	森林環境整備
	小施策	1	林業振興
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	340511
一般会計		(中事業名)	
款	農林水産業費	林業振興対策費	
項	林業費	(小事業名)	
目	林業振興費	緊急間伐促進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>林令16～概ね45年生のスギまたはヒノキの人工林を、概ね1,000㎡以上で20%以上の間伐を実施し、本数に応じて補助金を交付する。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>森林の適切な整備及び保全を進め、将来にわたり森林の有する多面的機能の持続的発揮を目指す。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費] 概ね5ha程度の間伐に伴う補助金	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			概ね5ha程度の間伐に伴う補助金	概ね5ha程度の間伐に伴う補助金	概ね5ha程度の間伐に伴う補助金
直接事業費		500千円	500千円	500千円	500千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 0	500	500	500	500
人工数	職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
	臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 0千円	528千円	528千円	528千円	528千円
+ 総事業費	(0千円) 0千円	1,028千円	1,028千円	1,028千円	1,028千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	-
	実績		-	-	-	-	-
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 事業者
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[事業量の50%未満相当]	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 森林が持つ多面的機能を維持するため、間伐事業への支援は必要。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5017	(H.22)No.	5017
-----------	------	-----------	------

事務事業名		林道維持管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		農林振興室		松井 保	63-7635
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	2	森林環境整備
	小施策	1	林業振興
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	341001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	林道維持管理費	
項	林業費	(小事業名)	
目	林業振興費	林道維持管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>< 事業内容 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 維持管理業務委託 維持管理工事 維持管理補修資材支給 	

めざす効果(事業目的)	
<p>森林の機能発揮の向上及び林産物の搬出に係る維持管理費の節減により、被害の未然防止及び林業経営者の負担軽減を図る。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] 事業内容 維持管理業務委託:323千円 維持管理工事:305千円 維持管理補修資材支給:136千円	[事業内容(事業量)・事業費] 事業内容 維持管理業務委託:330千円 維持管理工事:400千円 維持管理補修資材支給:650千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
	793千円	1,380千円	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
直接事業費	793千円	1,380千円	維持管理業務委託 :330千円	維持管理業務委託 :330千円	維持管理業務委託 :330千円	
財源内訳(千円)			維持管理工事 :400千円	維持管理工事 :400千円	維持管理工事 :400千円	
国庫支出金			維持管理補修資材支給 :650千円	維持管理補修資材支給 :650千円	維持管理補修資材支給 :650千円	
県支出金						
地方債						
その他()						
一般財源	(0) 793	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380
人工数						
職員	0.10人	0.11人	0.11人	0.11人	0.11人	0.11人
臨時職員等	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 747千円	820千円	820千円	820千円	820千円	820千円
+ 総事業費	(0千円) 1,540千円	2,200千円	2,200千円	2,200千円	2,200千円	2,200千円

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	m	50,702	50,702	50,702		
	実績						
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 継続実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性及び効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 森林の機能発揮の向上及び林産物の搬出に係る維持管理費の節減により、被害の未然防止及び林業経営者の負担軽減を図るため、引き続き適切な維持管理を行う必要がある。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6082	(H.22)No.	6082
-----------	------	-----------	------

事務事業名		林業振興一般経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		農林振興室		西森 平太郎	63-7625
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	2	森林環境整備
	小施策	1	林業振興
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	340501
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	林業振興対策費	
項	林業費	(小事業名)	
目	林業振興費	林業振興一般経費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>林業振興関係一般事務事業 報償費 林業団体事業推進報償費・地元材利用推進報償費 旅費 負担金 三重県森林協会負担金等</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>地元材利用促進を図る。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)							
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]									
主な事業の実績・計画	林業振興関係一般事務事業 報償費 林業団体事業推進 報償費・地元材利用推進報償 費 旅費 負担金 三重県森林協会負 担金等		林業振興関係一般事務事業 報償費 林業団体事業推進 報償費・地元材利用推進報償 費 旅費 負担金 三重県森林協会負 担金等		<table border="1"> <tr> <td>市が直接実施</td> </tr> <tr> <td>業務委託(全部・一部)により実施</td> </tr> <tr> <td>指定管理</td> </tr> <tr> <td>補助金・交付金</td> </tr> <tr> <td>その他 ()</td> </tr> </table>			市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
市が直接実施												
業務委託(全部・一部)により実施												
指定管理												
補助金・交付金												
その他 ()												
直接事業費	150千円	287千円	287千円	287千円	287千円	287千円						
財源内訳 (千円)	国庫支出金											
	県支出金											
	地方債											
	その他()											
一般財源	(0) 150	287	287	287	287	287						
人工数	職員	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人						
	臨時職員等		0.01人									
概算人件費	(0千円) 292千円	309千円	292千円	292千円	292千円	292千円						
+ 総事業費	(0千円) 442千円	596千円	579千円	579千円	579千円	579千円						

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標	目標						
	実績						
目標	目標						
	実績						
目標	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行)	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 一般事務事業	